

うるま市立体育施設

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン
(屋内施設：体育館・柔剣道場・トレーニング室・ドーム・会議室・プール)

令和2年 5月16日
(改訂) 令和2年10月13日

企業名 うるま文化・スポーツパートナーズ
(業種) 運動・遊戯施設
代表者名 前岡 優助

1. 基本チェックリスト

- 従業員の就業前の体温測定 従業員の手指消毒の徹底
- 従業員のマスクの着用 入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
- 入場者に対するマスク着用お願いの周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための入場者整理の方法

- ① 密にならないための対策
 - ・ 利用制限を設ける

利用者同士の間隔は2m（両手を広げてぶつからない程度）を確保ください。

- 体育館：1団体4時間まで（利用後、空いていれば1時間ごとに延長可）
- トレーニング室：一度の入室を10名以内
 - ※利用時間はお一人1時間以内とする。
 - ※マシン利用後は、除菌スプレー・ペーパーで拭き取ってもらう。
- 卓球場・柔剣道場：1団体2台・4時間まで（利用後、空いていれば1時間ごとに延長可）
 - ※卓球台は1台間引き全4台とする。
 - ※利用後は、卓球台を除菌スプレー・ペーパーで拭き取ってもらう。
 - ※ネットは設置したままにする。
- ドーム：1団体4時間まで（利用後、空いていれば1時間ごとに延長可）
- プール：利用状況によりコースロープにて調整を行う。
人数が多い場合は待機してもらう等の対応を行う。

専用利用（大会行事等）は、
※収容定員の半分以下の距離を十分に確保できること（できるだけ2m）
※全国的かつ大規模なイベント等の開催については、リスクへの対応が
整わない場合は中止又は延期するよう、慎重に対応する。

② 発熱等の症状のある方の入場制限方法

- ・ 発熱や咳、頭痛等の症状がある方については、自粛するよう協力を求める。

③ その他

- ・ 2週間以内に海外渡航歴がある方の利用はできません。

(2) 対人距離の確保の方法

①接触感染対策

- 受付で使用したボールペン等は除菌（拭き取り）する。
※利用申請書以外の受付簿は職員で記入する。
- 無料貸出用具（グラウンド・ゴルフ等）は返却後に拭き取り除菌を行う。
- ビート板は使用後に回収し、除菌を行う。

②飛沫感染対策

- 受付カウンターは、透明ビニールカーテンで遮蔽する。
- マイク使用後は除菌する。
できるだけ同じ方の使用とする。（一度に多数の方の利用はご遠慮してもらう。）

(3) 施設の換気対策

- 常時、窓及び扉は二カ所以上開けておく。
- 定期的に職員による換気を行い、会議室は換気しながらの利用とする。
※会議室利用後には換気をし、次の団体受付は30分以上空けて行う。
- 換気扇を有する部屋等については常時入れておく。

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

- トレーニング室へ手指消毒液（スプレーボトル）を用意し、ペーパータオルでの拭き取り除菌を行う（職員：朝・昼・夜に各1回・利用者：使用后）
- ドアノブや手すり、蛇口等、消毒作業を行う。

(5) その他基本的な感染拡大予防策

- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗いを行う。
- 館内に設置している雑誌等は全て撤去する。
- 専用利用（大会行事等）の際、主催者による除菌（手指消毒液等）の準備、注意喚起、体調管理を行う。
- プール内は常に残留塩素濃度が基準値以内（0.4mg/L以上）になるよう、徹底した「塩素消毒」を行う。